

## 特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

## 【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた検討状況報告）
日 時	平成31年3月11日（月曜）13時30分～17時00分
場 所	大阪市役所本庁舎5階秘書担当会議室
出 席 者	（特別顧問・特別参与）： 清水特別参与 山本特別参与 （職員等）： 政策企画室（市民情報部長、広報担当課長 外5名） 副首都推進局（戦略調整担当課長代理 他3名）
論 点	・大阪市の各種広報媒体及び広報手法について
主 な 意 見	（大都市制度周知にかかる広報） <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出しの色を全体のバランスを考えて決めていると思うが、目に入っていない。プロでない方がデザインを考える際にロジックで考えがちになるが、見る側はそこまで考えない。きれいなバランスにはなっているが、告知機能としては不十分。もっと目立たせるべき。</li> <li>・説明の内容によって、キャラクターが適正かを検討すべき。</li> </ul> （広報クオリティ確保に向けた取組み） <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報が伝わるようにするためには、広く漠然と市民を対象と考えるのではなく、市民をユーザーとして捉えるという意識を職員に持ってもらうことが大事。</li> <li>・広報物を制作する際にテーマが決まればすべて決まっていく。テーマを決めることで軸ができ、キャッチフレーズやレイアウト、優先順位もできてくる。制作の最初から最後まで貫く判断基準となるものであるということを認識してもらい、設定してもらうことが必要。</li> </ul>
結 論	・本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説明等資料	
備 考	
関係所属 （ 部 課 ）	政策企画室市民情報部広報担当